



名取北高校だより

名北の風

平成28年度第3号 (2016/06/16発行)

陸上男子100m, 剣道女子個人で東北大会出場!

今年度の県高校総体で、**剣道女子個人**で菊地ひな美さん(2年)が県新人大会に引き続き第3位、**陸上男子100m**で太田博也さん(3年)が第6位に入り、東北大会出場を決めました。また**陸上男子200m**で太田博也さんが8位、**女子バスケットボール**は優勝した明成に敗れたものの健闘しベスト8入りを果たしました。各部ともに熱戦を展開した高校総体でした。これからの各選手権等につながることも、「頑張る名北魂」は3年生から後輩へ受け継がれてゆきます。

県総体を終えて 剣道部
菊地ひな美(2年・岩沼西中出身)
一回戦が一番緊張しました。初戦を勝ち、冷静に戦うことができました。一番決めたかったメンを決めて勝つことができましたよかったです。これからも一戦一戦を大切に、来年こそは仲間とともに地元インターハイ出場を果たせるよう精進して行きます。



6/8に総体報告会と東北大大会壮行会を開催しました。(写真は地区総体優勝のメンバー)



県総体を終えて 陸上部 太田博也
(3年・袋原中出身)
3年生となり、最後の県総体で初めての東北大会出場を決めることができました。決勝を走り終え、モニターに映る結果を確認し、東北大会へ進めることを知った時は、喜びと達成感で一杯でした。また、これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちもありました。
去年の県新人では100m200mともに決勝まで残ったものの、どちらも東北大会出場を決めることができず、自分の力のなさを実感しました。今回は自分の力を発揮でき、次に繋がる走りをするのができました。このような走りができたのは自分の努力だけでなく、先生方や部員、これまで支えてくださった方々の力があってこそです。皆さんにはとても感謝しています。本当にありがとうございました。
東北大会では自分のベストを尽くし、後悔だけではないように走って来ます。また、応援してください。方々のためにも頑張ってきて来ます。



海岸林再生プロジェクト「植樹祭」

5月21日(土)下増田海岸林での植樹祭に29名の生徒が参加し、クロマツの植樹を行いました。名取市を中心に500名を超える参加があり、多くの参加者から若い高校生ボランティアに激励をいただきました。また、様子は翌日の河北新報に掲載されました。



植樹祭に参加して **菅井玲菜**(3年・岩沼西中出身)

私は今回初めて植樹祭ボランティアに参加しました。初心者私たちにも指導員の方々が優しく指導してくださり感謝しています。

この東日本大震災復興支援活動は、地元の名取市海岸林再生の会の皆さんと公益財団法人オイスカの皆さんが立ち上げた活動です。失われた海岸林を再生すべく2011年から始められました。また、オイスカの活動は国からの補助はなく、全ては募金によって成り立っているという話を聞き、被災地の復興に向けて自発的に行動している方々がいることに心が惹かれました。

クロマツはただの海岸林ではなく、私たちの生活を潮風や冷害から守ってくれる大事な役割を果たす木です。クロマツが元気よく成長して行けるように、今後もこの活動を支援していきたいと思います。

仙南総体結果 (第2報)

3位以内入賞のもの(氏名は優勝者のみ)

水泳(5/21開催)

女子400m自由形優勝 **高橋菜々美**(2年)

女子100m平泳ぎ2位、女子400mリレー2位



鍬で耕し植穴を掘る写真上。苗木の根には吸水ポリマーが巻かれている。苗木を植え、チップで土の表面を覆う(下)。



思いは通じる

公益財団法人オイスカ **吉田俊通**

(海岸林再生プロジェクト担当部長)

震災後4日目、「海岸林再生プロジェクト」を林野庁と私の職場に同時に提案しました。以来5年、一切ぶれず、



名取の被災農家の人たちが抜群の苗を育て、無数の支援者や、年間1,000人8時間労働のボランティアが心を込めて育てた、現時点で18万本36haの海岸林です。この4月、北高脇の道を歩き、ソフト部とサッカー部の練習を見たことがありました。地元の若い人に大人の渾身の現場を知ってほしいと思いが。そして5月21日、北高生が来てくれました。しかも自分で手を挙げて。心から思えば実現するモノですね。ただ嬉しかったか分かりますか? 本当にありがとうございます。これからも仲間として、末永くよろしく願います。

吹奏楽部第35回定期演奏会 感動と楽しさの融合

5月22日、名取市文化会館で行われた定期演奏会は、クラシックステージ、ポップスステージの他に、合唱、音楽物語「ごんぎつね」と、より多くの人を楽しめる構成とし、美しく楽しい音楽に多くの観客の皆様から大きな喝采をいただきました。



優美なクラシックステージ（写真上）。ディズニースタージを身につけた楽しいポップスステージ（下）。



演奏会を終えて

定期演奏会実行委員長

大浦 栞（3年・船岡中出身）

今年の定期演奏会を無事終える事が出来ました。これも皆様のお力添えがあったからこそだと心より感謝しております。演奏会で頂いたお気持ちと、ステージに乗った時に頂いた拍手を忘れません。

今年の演奏会を踏まえ、更に良い演奏会を後輩達に創ってほしいです。まだまだ至らぬ点がございますが、部員一同精進してまいりますので、温かい目で見守っていただけると嬉しいです。今後ともご支援のほど宜しくお願い致します。



加藤養護教諭 熊本災害派遣

本校養護教諭が5月21日から6月5日まで、宮城県教育委員会から熊本の小学校に派遣されました。

災害派遣を経験して 養護教諭 加藤尚子

熊本県の小学校に2週間支援に行っていました。水道、ガス等のライフラインは復旧しましたが、体育館は避難所になっていて、また、テントで生活している子どももいる状況でした。

派遣先の小学校では、日常の保健室業務とともに、子ども達に、心のケアについてのお話をしたり、東日本大震災の時のお話をさせていただきました。

子ども達が学校で授業を受けている間に地震が起こり、怖がって急に泣き出す子どもがいたり、不安になって「ママにあいたい。」と泣いたりする子どももいたりまだまだ大変な状況にありましたが、先生方が必死に子ども達に寄り添い、日々の教育活動にあたられていました。

熊本の子も達、北高生のようにたくましくして優しい子に成長していく事を祈りながら宮城に戻ってまいりました。

加藤養護教諭は余震が続く中、学校の教育活動が平常に行われるよう、児童の心のケアを始め、先生方の業務支援を行って来ました。毎日の報告を受け、同じように災害を体験した県民だからこそできる支援があることを感じました。（教頭）



小学3年生の道徳で授業をする加藤養護教諭（左）

土曜学習会開始

1、2年の土曜学習会は6月11日から毎定期考査前、模擬テスト前の土曜午前に、年7回（3年は年10回）開催されます。自分の弱点克服や応用力養成のためにポイントを絞った学習の支援を行っています。



2年漢文の講習…宍戸正勝教諭

防災避難訓練実施

6月14日に防災避難訓練が行われました。大地震を想定した訓練で、自らの身を守る「自助」と、けが人などの弱者を協力して守る「共助」について学びました。突然の「もしも」に備えた意識、体制づくりを今後も進めてまいります。



机の下に潜り頭を守る基本行動に真剣に取り組む

毎月の街頭交通指導

生徒交通安全委員会が4月から3月まで毎月、安全な登下校を呼びかけています。特に自転車のマナーアップは重点課題で、音楽等を聞きながらの運転等の危険運転追放や車両点検等、自転車も車両であるとの自覚を持ち、保険加入も含め呼びかけを行なっています。また、歩行マナーの向上も交通事故ゼロのために大切なことだとアピールしています。

6/15 4号線バイパスでの街頭交通指導



茶道部 デイサービスセンター訪問

5月21日ツクイ名取を訪問し、利用者の方にお点前を披露しました。人見黎さん（3年・六ヶ所村一中出身）の感想「ふだん交流の少ない高齢者の方々とお茶を楽しみ、若かりし頃の話をしていただいたことがとても嬉しかった。」



【宮城県名取北高等学校】

〒981-1224 宮城県名取市増田字柳田103

TEL 022-382-1261 FAX 022-384-8976

HP <http://natorikita.myswan.ne.jp>

mail chief@natorikita.myswan.ne.jp

（担当）教頭・町田尚彦



（学校だよりのご感想をお寄せください）